

# さんSUNひろば VOL.16

北海道看護協会 札幌第3支部

## 2019年度 札幌第3支部 新役員・委員を紹介いたします

第3支部 役員会  
支部長 高橋 由美



会員の皆様には日頃より、支部活動にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。  
支部長2年目となり、役員・委員の方々に支援を頂きながら活発な支部活動を目指し取組んでまいります。役員一同、協力して頑張りたいと思います。今年度も本部事業を含め、研修会や講演会を開催いたします。多くの皆様に参加していただけることを願っております。  
これまで同様、ご支援ご協力よろしくお願いたします。

## 保健師職能委員会

委員長 高橋 明子



近年保健師が活躍する場は保健・医療・福祉・産業など多岐にわたっていますが、所属組織に関わらず、保健師は個人および地域全体の検討の保持増進及び疾病予防を図るための保健活動を行う事がもめられています。保健師職能委員会では専門性の向上と会員交流を目的として、「地域包括ケア」「地域共生社会の実現」をテーマに7月に小規模学習会、10月には札幌第4支部保健師職能合同での研修会を企画していますので、多くの会員の参加をお待ちしています。保健師職能委員会の活動について、委員一同、力を合わせて取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 助産師職能委員会

委員長 伊藤加奈美



近年、ハイリスク妊産褥婦の増加など産科を取り巻く環境は変化しており、妊産褥婦のニーズも多様化している現状があります。母児にとってよりよいケアを提供できるよう、またスキルアップ・知識の向上のため、今年度は「ClocMip 関連研修 フィジカルアセスメント：新生児」と「産科救急に関する研修」の二つの研修を企画しています。助産師間の親睦・交流を深められるよう、第3支部助産師職能委員4名と協力しながら頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

## 看護師職能委員会

委員長

森田敦志



2019年度看護師職能委員会では、7月と11月に講演会を予定しています。

会員の皆様が興味・関心を持ち、職場で活かせるような講演会開催を目指して活動しています。会員の皆様のご要望・ご意見等も是非お寄せください。

どうぞよろしくお願いたします。

## 働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長

北田 つぐみ



こんにちは、働き続けられる職場作り推進委員会です。元気に笑顔で働き続けられるよう、少しでも心の片隅に残る研修を考えていきたいと思ひます。初めての事ばかりで戸惑いながらですが、6人で頑張っています。こんなテーマで研修をしてほしいなどありましたら、研修後のアンケート等でご意見を頂きたいと思ひます。1年間よろしくお願いたします。

## 教育委員会

委員長 中山 ひとみ



7月に「看護研究発表会」、10月に「看護過程と看護記録研修会」開催予定しています。看護研究発表会は毎年多くの施設が参加し、各取り組みを共有する機会になっていますので聴講されるだけでもぜひご参加ください。研修会は全道の施設から参加希望があり非常に満足度の高い研修です。

どちらも参加者にとって有意義な時間を過ごせたと思っていただけるよう、委員メンバーで準備してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

## 広報委員会

委員長 中島 久美子



新メンバー1名を加え、今年も5名で各委員会主催の研修などの活動をしっかり取材し、皆様のお伝えできるよう頑張っていきたいと思っています。

各委員の皆様、参加される会員の皆様にご協力やご支援を頂くこともしばしばあると思います。

1年間よろしくお願いいたします。

## 推薦委員会

委員長

蛭名 かおり



今年度、推薦委員長を務めます蛭名です。推薦委員会は次期役員及び、常任委員の選出がおもな役割です。推薦活動が円滑に行われるように、委員共々協力して1年間乗り切れるよう取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

札幌第3支部 旧役員・委員のみなさま  
本当にお疲れ様でした

新役員・委員の皆さま、今年度どうぞ宜しくお願ひ致します。

### 三職能合同講演会報告

平成30年度支部大会終了後、職能委員会主催にて、研修会を以下のとおり行われました。

日時：平成31年2月16日（土）

場所：ホテルエミシア札幌

テーマ：「カンフォータブル・ケアで変わる認知症看護」

参加者人数 171名



札幌第3支部三職能合同交流会で「カンフォータブルケアで変わる認知症看護」をテーマに北仁会旭山病院南敦司先生に講演していただきました。認知症高齢者に「快刺激」中心に関わることで 1) 認知症高齢者の周辺症状の緩和が期待できる 2) 生活の質向上が期待できる 3) 援助者のモチベーションが期待できる。南先生が提唱して認知症高齢者への「基本的対応技術」1～10項目と基本的な病態を含め、1つ1つ伺う事ができ会場内は先生の優しさ・暖かさで看護への思いに包まれた時間でした。

記 看護師職能委員 根本

「カンフォータブルケア」という言葉を初めて耳にしました。講演前からどんな内容だろうと興味がありました。南先生がスマイルTシャツで現れ、看護師という事もあり親しみを持って聞くことができました。認知症の患者さんと接する時には、いつも笑顔、いつも敬語、目線を合わせる、優しく触れるなど私は日々やっているつもりになっていたのではないかと、患者さんの尊厳は守られていなかったのではないかと反省させられるばかりでした。まずは明日から本当の笑顔で患者さんに接することから始めてみようと思いました。

記 広報委員 愛場

### 編集後記

平成から令和に改元しました。昭和から平成になった時自分は何をしていたのかと振り返ることがしばしばあります。まだ学生で元号が変わることの大変さなど微塵も感じず過ごした気がします。時が過ぎ今、令和という時代になったことを深く受け止めています。令和という時代に期待と希望をもち、唯一無二 この瞬間を大切にしていきたいと思います。暑さ・寒さと寒暖差激しい日々ですが皆さまお体を大切にしてお過ごしください。

広報委員 K・N 記